

“自動みずとめ” 住宅用定量止水付バス水栓

TOTO ご愛用のしおり

- このたびは、TOTO住宅用定量止水付バス水栓をお求めいただきましたこと、まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。

もくじ

特長・各部のなまえ	1
定量止水のしくみ	2
つかいかた	3～4
使用上の注意	4～5
環入設定量の調節のしかた	6～7
凍結予防のしかた	8
手入れのしかた	8
ストレーナの掃除	8
故障したときは	9～10

特長・各部のなまえ

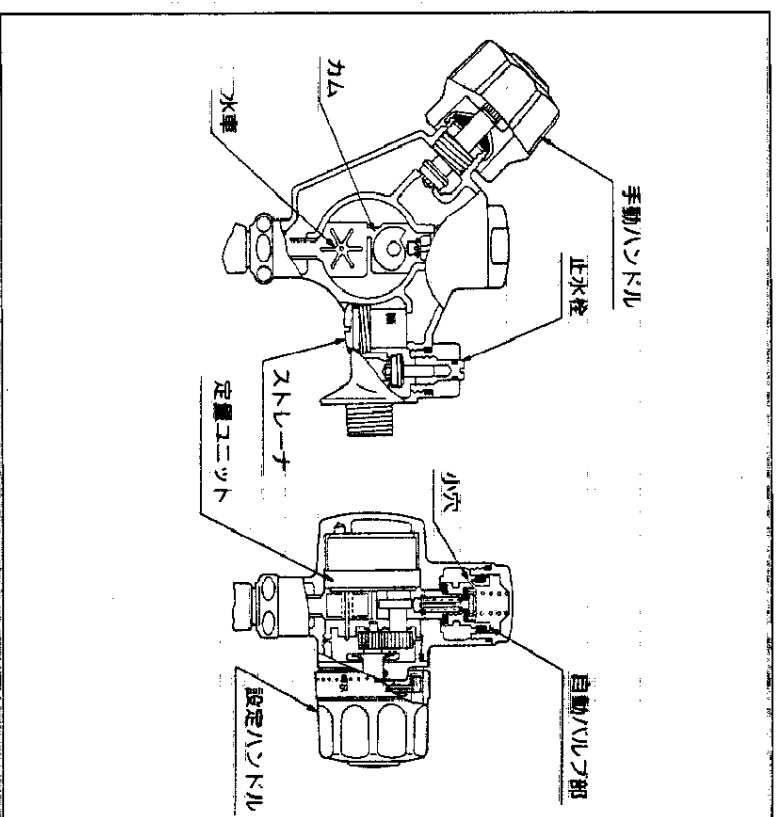
1. 希望水量を設定すれば今までのように浴槽に水をためる間、いちいち水量を気にする必要がありません。
2. 水をあふれさせる心配がありませんので、実際に流れる水の量で制御する機構のため、水量の制御は時間ではなく、実際に流れる水の量が制御されます。
3. 水量の変動で水量が変わることがほとんどありません。
4. 手動ハンドルを設けていますので、通常の水栓としても使用できます。
5. 自動バルブは緩閉止機構を採用し、ウォータハンズを防止しています。
6. 浴槽の大きさに合わせて必要とする水量以上、吐水しないよう最大設定量の調節ができます。
7. 内部機構はカートリッジ式になっていきますので、万一故障しても取り替えは簡単です。
8. 浴槽の貯水だけでなく、洗たく時の貯水、すすぎなどにも便利に使用できます。
9. 寒冷地用の場合は器具内の水抜きができる水抜コックを設けています。

一般用	TM500ADPR
寒冷地用	TM500ADPUZ
寒冷地用	TM500ADPWZ

一般用	TM500AR
寒冷地用	TM500AUZ
寒冷地用	TM500AWZ

付属部品	数
ストレーナ開閉工具	1

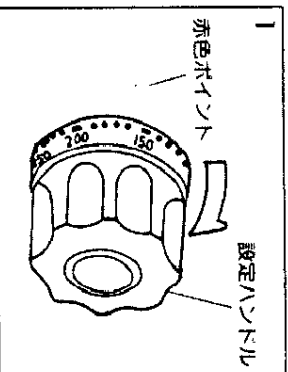
定量吐水のしくみ



1. 設定ハンドルを時計方向にまわすと、定量ユニットのカムが回転し、バルブを押しあげ水が出はじめます。
 2. 湯が出はじめると水の勢いで水車回転し、その回転がギアで減速されながらカムをゆっくりと回転させます。(このときハンドルがゆっくりと反時計方向に自動回転します)
 3. 所定の位置まで回転するとバルブがカムから離れ、ばねと水圧によりバルブが閉まり、水が止まります。
- 手動ハンドルは設定ハンドルとは関係なく操作できます。

つかいかた

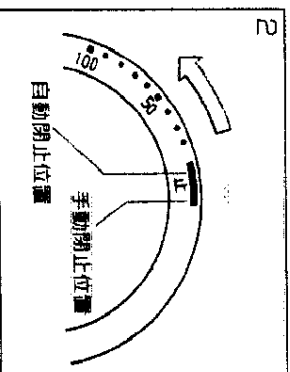
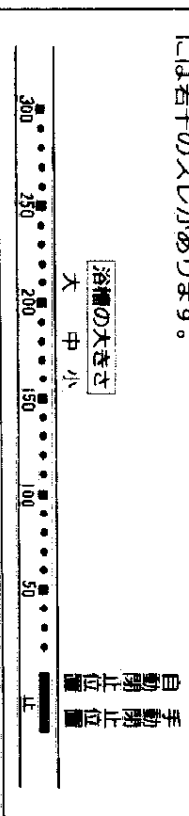
〈設定ハンドル使用の場合……浴槽へ水をためるとき〉



手動ハンドルが「止」になっていることを確認します。設定ハンドルを矢印方向に回すと水が出はじめます。希望の目盛を本体の赤色ポイントに合わせてください。120以下の目盛に設定するときは、一度120以上回してから戻して設定してください。

目盛の目安

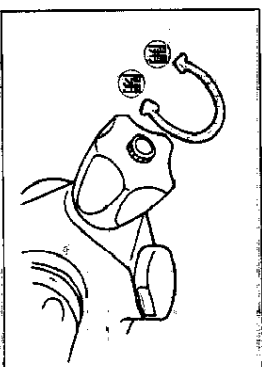
ハンドルの数字がおよその湯量です。(例:150≒約150L)
 下図に設定位置の目安を示しますが、一度水をためてみてお取付けの浴槽に合った水量を確認してください。自動閉止位置と手動閉止位置には若干のズレがあります。



設定水量を吐水したのち、図に示す位置で、自動的に止水します。途中で水を止めたいときは、設定ハンドルを止まるまで矢印方向へ回してください。

注：水をためて風呂を沸かす場合は、必ず浴槽内の水量を確かめてください。

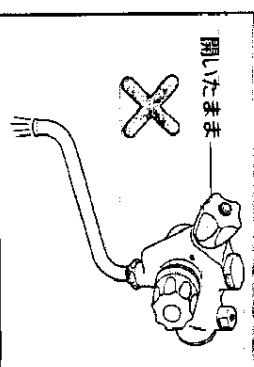
〈手動ハンドル使用の場合〉



従来の水栓の機能と全く同じです。
 定置止水の必要がないときは手動ハンドルで開閉してください。

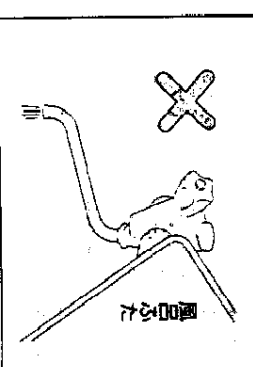
使用上の注意

1. 設定ハンドル使用時は手動ハンドルは開めておくこと



自動吐水時に手動ハンドルを開いておくと自動止水しません。また途中で手動ハンドルを開けても設定水量より多くなります。

2. 自動吐水時は設定ハンドルの自動回転を妨げないこと

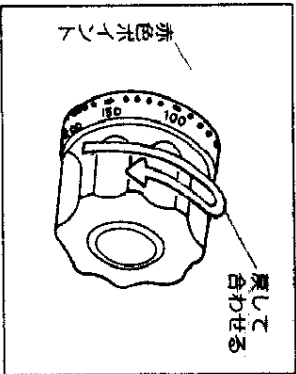


自動吐水時は設定ハンドルがゆっくりと自動回転しますので、その動きを妨げないようにしてください。動きを妨げると水量が多くなったり自動止水しなくなります。(風呂ふた、シャワーホースなどが設定ハンドルにあたらぬようにしてください。)

最大設定量の調節のしかた

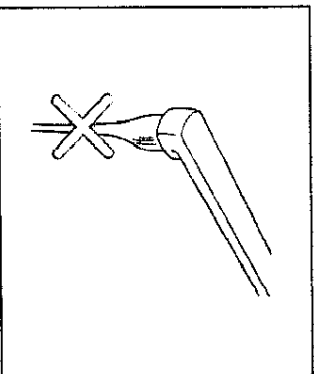
3. 120以下に設定するとき、120以上に回してから設定すること

水量を120以下に設定するとき、必ず設定ハンドルを120以上に回してから希望する目盛に戻してください。(そのまま120以下の目盛に合わせると、自動止水しません。)



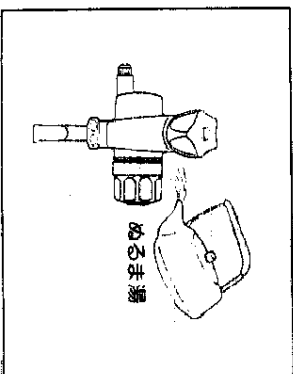
4. 極端に少ない流用で使用しないこと

水圧が高いと吐水中や自動バルブ閉止時に異音が生じることがありますので止水栓を付属の工具またはドライバーで調節してください。この場合極端に絞ると、精度が悪くなったり自動止水しないことがありますので目盛150(約150ℓ)のとき少なくとも30分以内で止水するぐらいの流量で使用ください。



5. 凍結すると少しの間吐水しません(寒冷地用の場合)

凍結した場合、水抜きを行っていてもストレーナやギアの表面に付着した水滴が凍ることがあります。通水後吐水しない場合や設定ハンドルがかたくて回らない場合は、ぬるま湯であたためてください。

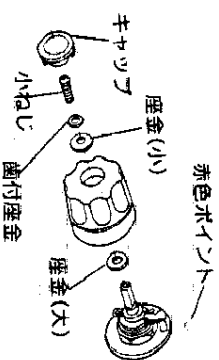


この器具は目盛300(約300ℓ)まで設定できますが、浴槽の通水量以上、設定ハンドルが回らないように最大設定量を調節することができます。
次の要領で調節をしてください。

●調節する前に

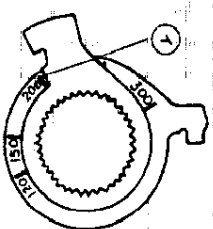
- (a)浴槽の通水量を調べる。設定ハンドルの目盛はおよその水量(ℓ)を示しますので、浴槽に水をためてみると適量かわかります。
- (b)止水栓を開める。
- (c)設定ハンドルを目盛100に合わせる。

1. キャット・小ねじ他をはずして設定ハンドルを取りはずしてください。

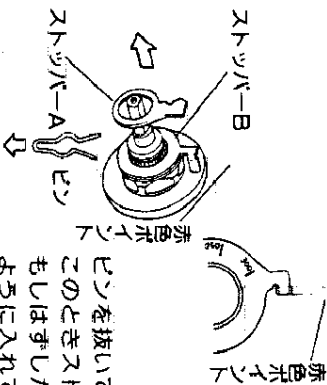


3. ストップバーBの数字はおよその水量(ℓ)を示します。数字は50単位になっていきますが10単位の設定が可能です。あらかじめ調べた適量の数字にストップバーAの凸面を合わせてください。下図は約200ℓ

に合わせたときを示します。ストップバーAを120以下にセットしないでください。自動止水しなくなりません。



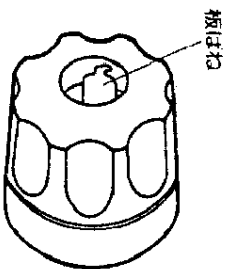
2.



ピンを抜いて、ストップバーAをはずしてください。このときストップバーBははずさないでください。もしはずした場合は、赤色ポイントに刺して図のように入れてください。

4. ストッパーのセットが終了したらピンを入れ、設定ハンドルを取りはすしと逆の手順で元の位置におさめてください。このとき、座金(大)を忘れずと設定ハンドルが回らなくなる場合がありますので注意してください。

また、設定ハンドルをおさめるとき板はねが出てくる場合がありますがそのときはブライパーなどで元どおりに押し込んでください。



5. このページ下段に添付している適量ラベルを設定量の目盛の上に下図のように貼りつけてください。



適量ラベルを貼っておくとご使用になる方が容易に設定できます。貼るときは、ハンドル表面の汚れや水分をよくふきとってください。

最大設定量の調節をしない場合でも、浴槽に水をためるとき合わせる目盛の上に適量ラベルを貼っておくと便利です。

適量

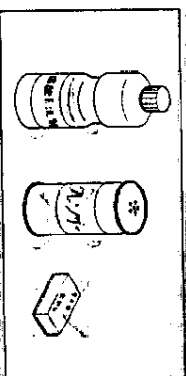
適量ラベル

凍結予防のしかた

凍結のおそれがある場合は、同封の「氷掻方法」のラベルにしたがって器具内の氷掻きをしてください。
なお、ラベルは器具の近くにはりつけてください。

手入れのしかた

いつまでも美しいを保つために柔らかい布でみがき、めっきされたところほときどきミネソナ油やカーワックスなどを塗布してあげてください。ただし樹脂部(ハンドル)に付着すると光沢を失いますので、付着しないように十分注意してください。

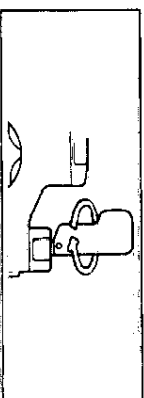


クレンザー・みがき粉などや粗い粒子を蓋む洗剤およびナイロンたわしなどはめつき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめつきを傷めますので使用しないでください。まおがらで使用したときはずぐに水洗いしてください。

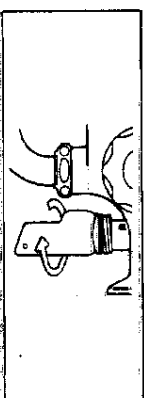
ストレーナの掃除

ストレーナがつかまるまたは水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますのでときどき次の要領でストレーナを掃除してください。

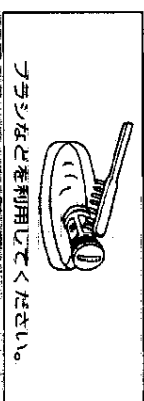
1. 止水栓を閉じる



2. ストレーナを取りはずす



3. 掃除



ブラシなどを利用してください。

4. 組み込み



ストレーナを元の位置に最後まで確実におさめ止水栓を開く。

故障したときは

故障の修理はお取付工事店にご依頼ください。なおご不明な点がございましたら最寄の弊社事業所にご相談ください。

●修理を依頼される前に簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前次の点検をしてください。

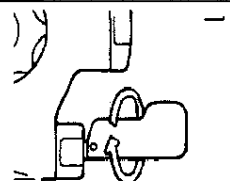
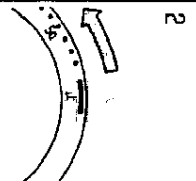
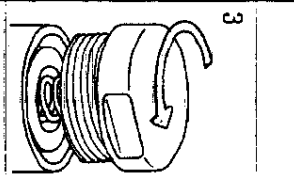
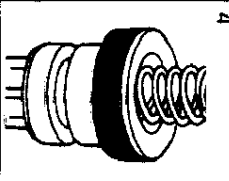
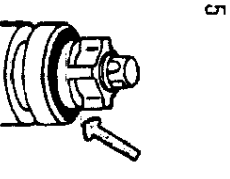
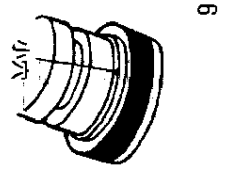
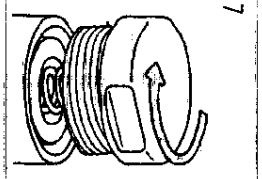
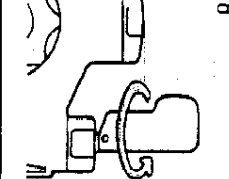
●故障内容

- 水が出ない
- 流量が少ない
- 水が止まらない
- 水量が大きく狂う

●点検項目

- 止水栓は開いているか
- ストレーナにごみつまりはないか
- シート部にごみをかんでいるか
- バルブの小穴がつかまっているか
- ハンドル目盛が「止」の位置にあるか
- 手動ハンドルを開いていないか
- 設定ハンドルの動きを妨げているか
- 水量の設定をまちがわなかったか

自動バルブの掃除のしかた

1		止水栓を閉め水を止める。
2		設定ハンドルを止まるまで矢印方向へ回す。
3		バルブカバーを開ける。(1ページ参照)
4		バルブ部を取り出す。
5		シート/パッキンにごみかみかたがなにか調べる。
6		小穴がつかまっているら細かい針金で掃除する。(荷札の針金など)
7		バルブ部を元どおりにおさめ、バルブカバーを閉める。
8		止水栓を適量に開く。